

遺伝とがんについて知ろう

no+e  
遺伝とがんについて

医療者の方へ  
(準備中)

「ゲノム情報に応じたがん予防にかかる指針の策定と遺伝性腫瘍に関する医療・社会体制の整備および国民の理解と参画に関する研究」

がんと遺伝の関係  
遺伝性腫瘍とは？

遺伝性腫瘍について  
相談したい時

遺伝性腫瘍の  
診断について

遺伝性腫瘍と  
診断されたら

診断された後の  
生活のこと

## 遺伝とがん、遺伝性腫瘍について わかりやすくまとめました

がん患者さんの約1割が生まれつきがんに罹りやすい遺伝的な特徴があると言われてます。  
 遺伝的な特徴を知ること、がんの予防につながります。  
 「遺伝情報を知ること、自分やまわり大切な人の健康を考える。」  
 そのような社会を一緒に考えていきませんか？  
 そして、診断された方が遺伝性腫瘍とともに生きるために、  
 支援に関する情報もお伝えしていきます。



遺伝性腫瘍について相談したい時

どこに相談したらいいですか？

どこに相談したらいいですか？

遺伝カウンセリングとは？

相談する前にご準備いただきたいこと

医療機関の遺伝子医療部門に相談しましょう。

まずは主治医などの医療者にお尋ねいただければ、遺伝子医療に対応する部門や医療機関へお繋ぎします。  
 主治医がない方、がんを発症していない方など、どなたでも遺伝子医療部門を利用することが可能です。  
 遺伝子医療部門がある医療機関へお問い合わせください。



医療機関により、遺伝子医療部門の名称は異なります。遺伝子診療科や遺伝外来、遺伝カウンセリング外来など様々な名称の部門があります。

遺伝性腫瘍の診断について

遺伝性腫瘍は どうやって調べることができますか？

遺伝性腫瘍の診断に用いる遺伝学的検査の種類

結果の解釈について

VUSの結果を受け取られた方へ

遺伝学的検査を受けるかどうか、考えるときに

遺伝学的検査とがんゲノムの検査との違いは？

多くの場合は、ご自身の血液を使って遺伝子を調べ、確定診断を行います。

検査を検討される際には、主治医や遺伝子診療部門をもつ施設に相談しましょう。

※ただし、現在の医学・技術の限界により、診断がはっきりしない場合があります。  
 ※結果を解釈する際に、本人の症状や血縁者の情報を参考にすることがあります。  
 ※疾患によっては、症状や体の特徴から、検査を行う前に診断が推定されるものもあります。





このように、遺伝子の検査のうち、人の生まれもった遺伝子の特徴を調べる検査のことを「**遺伝学的検査**（いでんがくてきけんさ）」と言います。  
 遺伝学的検査で判明する遺伝子の特徴をバリエーションとよびます。